

## 平成24年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典



12月20日（木）、平成24年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、黒木雅文特命全権大使とカンボジア医療サービス支援会のチョー・プーン代表が、「ラタナキリ州ボケオ郡リファレル病院整備計画」（供与限度額：100,298ドル）案件の贈与契約書に署名を行いました。

本案件では、首都プノンペンからの最遠隔州であるラタナキリ州ボケオ郡リファレル病院に病棟1棟を建設し、併せて医療機材を整備することで、地域で提供する医療サービスの拡大および向上を支援します。本案件の実施により、ボケオ郡で提供される医療サービスの範囲が拡大され、管轄区域3郡（ボケオ、オヤダウ及びアンドンミア）の住民約50,000人の健康増進が期待されます。また、ボケオ、オヤダウ及びアンドンミア保健所で対応できなかった外来患者が、州都にあるラタナキリ州立病院へ搬送されることなく、ボケオ郡リファレル病院で診療や治療を受けられるようになるため、病院への搬送時間が短縮され、患者の負担が大幅に減少します。更に、ボケオ郡リファレル病院において、入院患者の受け入れが可能になるため、患者に対して継続的な治療を提供できる適切な療養環境が整備されます。



式典では、黒木大使がスピーチを行い、本事業でボケオ郡リファレル病院が整備されることにより、提供される医療サービスの質が向上することが期待される旨述べました。続いて、チョー・プーン代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、病院関係者と協力してより良い医療サービスの提供に努めることを約束しました。

